

令和4年度 岩船地区要望事項（回答）

1 岩船地域コミュニティセンターの耐震化について

岩船地域コミュニティセンターは昭和51年に岩船地区の公民館として設置され、以後岩船支所、岩船連絡所としての機能も兼ね、地域活動やまちづくりの拠点となっている重要な施設ですが、耐震化が図られないまま建築から46年が経過し老朽化が進んでいます。

令和3年度に村上市指定緊急避難場所等指定方針の策定及び指定緊急避難場所等の見直しがおこなわれましたが、岩船地域コミュニティセンターは耐震性が無いため、指定緊急避難場所・指定避難所とも指定取消しになりました。これにより岩船地区の指定避難所は岩船中学校一か所となり、収容人数も見直され、地区住民の6%にも満たない収容状況であります。

岩船地区は海岸線に近く、地震、津波が発生した場合、甚大な被害を受ける危険性があります。このままでは岩船地区住民約3600人の避難所としては到底不十分であり、安心して暮らすこともままなりません。

災害発生時に住民の命を守ることは最優先の課題であります。つきましては、岩船地域コミュニティセンターの耐震化を図り避難所を兼ねた防災センターとしての活用を要望します。



【回答】

市の指定避難所については、住民の安全を図るため、令和3年度に見直しを行い、耐震性のない施設は災害により自宅で生活できない場合に避難生活を行う指定避難所の指定を取り消しました。一時的に災害の危険から身を守るグラウンドなどの指定緊急避難場所については、最寄りでは岩船中学校を指定しており、今後は、村上市公共施設マネジメントプログラムと整合性を図りながら、市内の公共施設で避難所として使用できるものについては、指定避難所として指定していきたいと考えております。

また、近隣のリハビリテーション大学との協定の中で、避難所として提供いただける施設等についても協議をすすめ、避難所の拡大をしていきたいと考えております。

岩船地域コミュニティセンターにつきましては、岩船地区のコミュニティ活動の中核となる重要な拠点施設であると認識しております。現時点において耐震診断が未実施ですので、令和5年度に耐震診断を実施するよう準備を進めてまいります。

(問合せ先：総務課)

2 岩船運動広場のフェンスの改修について

岩船運動広場は、岩船地区のみならず村上市内各地から多くの利用があり、市民にとっては村上市の体育施設として欠かすことの出来ない施設となっております。

しかしながら、岩船運動広場の野球場側で野球をするとき、レフトフェンスが非常に低いためにフェンス越えのボールが飛び出しやすく、探すのが非常に困難となっております。

ボールを探しに行った際に怪我をすることや、誤って河川や用水に転落する危険性もあります。

つきましては、利用者の安全確保のためにも、フェンスのかさ上げ等の必要な改修を引続き要望します。



周囲のフェンスの
5分の1ほどしかない
レフトフェンス

【回答】

岩船運動広場の外周フェンス改修については、今年度拡張工事を行い、現場での工事は完了しております。

(問合せ先：生涯学習課)

3 市道岩船田中線の拡幅改修について

市道岩船田中線は臨港道路との交差点付近の道路幅がせまくなっており、車どうしのすれ違いや右左折に難渋しています。

また、近年隣接地に住宅も増え、交通量も多くなっており、安全確保の為に早期に拡幅工事を行っていただきますよう要望いたします。



交差点付近の道路幅が狭い市道岩船田中線

【回答】

市道岩船田中線と臨港道路の交差部の拡幅につきましては、市といたしましても必要性は認識しております。

昨年度は用地関係者の調査をさせていただきました。今後は土地所有者へ再度事業への用地のご協力をお願いするとともに、臨港道路との交差点協議などを進め、事業化へ向けて取り組んでまいります。

(問合せ先：建設課)